



■会場	東京体育館(東京)	試合開始:12:20	試合時間	1:11
観客数	2,500	主審: 鈴木 和彦	副審: 廣井 健一	

	得点	セット時間	得点	
	24	1set(26')	26	
熊本信愛女学院高等学校(熊本県)	20	2set(19')	25	金蘭会高等学校(大阪府)
■監督: 堤 政博	20	3set(20')	25	■監督: 池条 義則
■コーチ:				■コーチ: 林 寛二

■第1セット出場メンバー

1 古賀	6 坂梨	2 中山
5 清田	4 津口	10 三森

()内は交代選手
■リベロ: 9 村山 真琴

■第1セット出場メンバー

6 丸尾	2 堀込	4 服部
5 宮部	10 白澤	3 島田
9 (森)		

()内は交代選手
■リベロ: 8 小池 杏菜

64	Total	76
0	セット数	3

■ Match Comment

第1セット、両チーム二段トスの応酬で見ごたえある展開となった。金蘭会は宮部、熊本信愛女は古賀、共に高さのあるエースにボールを集めた。20点前後で相手のミスに乗じて抜け出した金蘭会に対し、熊本信愛女は古河の活躍で4点差を追いついた。金蘭会は、効果的なブロックと堅いレシーブにより最後は宮部が二段トスを打ち切ってセットを奪った。
第2セット、序盤は熊本信愛女は中山のサーブで相手のレシーブを乱してリードするも、金蘭会はセッター堀込がトスを満遍なく散らす多彩な攻撃でじわじわと追いつく。14-14の同点から金蘭会は丸尾のサービスエース2本を含む連続得点で一気に5点差をつけた。そのままリードを保った金蘭会が第2セットもとった。
第3セット、序盤は一進一退の攻防であった。熊本信愛女は古賀が後衛に下がると得点がとまってしまった。サーブレシーブも乱れ始める。対する金蘭会は堅実なサーブレシーブにより連続得点を許さない。相手の攻撃もリベロ小池を中心に執念の守りで防ぎ、丸尾、服部、白澤などのスパイクで切り返した。金蘭会は中盤以降終始5点程度のリードを守りきり、初優勝を遂げた。

■ Coach Comment: 堤 政博(熊本信愛女学院高等学校(熊本県))

■ Coach Comment: 池条 義則(金蘭会高等学校(大阪府))